

創刊のことば

京都大学においては、かねてから、東南アジアにかんする研究が進められていたが、その重要性にかんがみ、本年2月に東南アジア研究センターが設立された。

東南アジア研究センターは、東南アジアの近代化とその開発を理論的・実証的に研究することを主題とするもので、人文・社会・自然の諸部門に属する研究者によって総合的に研究しようとする全学的な組織であり、他大学の研究者の参加も期待している。

その研究成果については、つぎの3種類の出版物をとおして発表するつもりである。

第1は、ここに創刊する「東南アジア研究」である。これは研究例会の報告をおさめるもので、当分は半年刊とする予定である。研究例会は、それによって、各専門分野の研究者が、東南アジアの諸問題についての一般的知識を得ることを目的とするものであるから、その報告は、あまり専門にかたよらないものであり、したがって、これによって、東南アジアの総合的理解が助けられよう。また、この「研究」は、研究センターの組織・運営あるいは諸活動の記録もおさめるので、所報としての役割をはたすであろう。

出版計画の第2は「東南アジア研究センター紀要」である。これは、目下のところ、不定期刊行であるが、専門的な研究論文を収載する予定である。

第3は、「東南アジア研究センター調査報告書」である。これは、さしあたり、フオード財団資金の援助による人文・社会科学部門の5カ年の現地調査計画の報告で日英両文それぞれ13冊を予定しているが、目下検討中の自然科学部門の現地調査計画の遂行にともない、その調査報告書も刊行されよう。

「東南アジア研究」は、このような出版計画の一環となるものである。

ここに創刊号を刊行し、いささかでも東南アジアの理解に寄与することができるならば、わたくしの深く喜びとするところである。しかし、いずれにしても、はじめての刊行であり、みなさまの御批判を得て、少しでもよりよいものにしてゆきたいと思う。御叱正と御援助を切にお願いするしだいである。

昭和38年6月

京都大学東南アジア研究センター所長

奥 田 東